

認知症あんしん生活実践塾 2 0 2 4

～家族で治そう認知症～実施報告書



主催 一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会

白梅学園大学・白梅学園短期大学 子ども学研究所

学校法人白梅学園大学・白梅学園短期大学 子ども学研究所 地域課題活動助成

認知症あんしん生活実践塾 2 0 2 4 実行委員会

後援 小平市

1. 研修会実施要領

(1) 研修会の目的

現在、わが国は、超高齢社会と呼ばれるほど高齢者の人口が増加しており、高齢化の進展に

伴い 4 人に 1 人が認知症またはその予備軍とされ、今後の大きな社会問題となっております。

そのような状況の中、一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会 竹内孝仁会長の提

唱する「認知症を治すケア」を広く一般住民の方々に周知していただき、在宅で認知症の方を介護するご家族の支援や認知症となった方々がいつまでも住み慣れた在宅で生活ができるよう、「認知症あんしん生活実践塾 2024」を開催いたしました。

また、家族・地域支援セミナー in 小平 2024、令和 6 年度小平市認知症あんしん生活実践塾の同時開催となった。

(2) 実施日時

令和 6 年 9 月 17 日（火）午後 1 時～ 3 時

(3) 実施会場

白梅学園大学・白梅学園短期大学内（東京都小平市小川町 1-830）

本会場／中国語同時通訳会場／要介護者・車いす等対応会場（介護付き）

(4) 参加者

名（家族介護者・地域住民 17 名、医療福祉専門職及びその他 54 名、学生 13 名）

2. 研修会場

(1) 研修カリキュラム

12:30 開場

13:00 開会挨拶 開催校 白梅学園大学 森山 千賀子

来賓挨拶 小平市長 小林 洋子様

13:05 第 1 部 講演「認知症を治すケア その理論と実践（２）」

講師 一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会 竹内 孝仁顧問

14:00 休憩・換気

14:10 第 2 部 シンポジウム 座長：国際医療福祉大学大学院 准教授/日本自立支援介護・パワーリハ学会代表理事 小平 めぐみ

報告①

演題：家族の協力と学生によるウォーキングボランティアの実践

演者：小平市認知症あんしん生活実践塾 SWV 磯井敬太

塾名：白梅学園大学（小平市）

報告②

演題：定期的な散歩と家族の声かけで認知症の症状緩和に！

演者：小平市認知症あんしん生活実践塾 塾生（共同発表：白梅学園大学 学生）

塾名：白梅学園大学（小平市）

報告③

演題：自立支援型サービス利用による認知症状の消失

演者：認知症あんしん生活実践塾 東京令和館中野塾生山口祐子（東京令和館中野職員古川真介）

塾名：東京和館中野

報告④

演題：受け入れることから始めよう～見て聞いて伝えて試して～

演者：認知症あんしん生活実践塾川崎塾生高槻みわ

塾名：川崎市

15:05 ディスカッション パネリストと会場を交えてのディスカッション

コーディネーター 一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会 竹内 孝仁顧問

国際医療福祉大学大学院 准教授/日本自立支援介護・パワーリハ学会代表理事
小平 めぐみ

15:50 次回開催挨拶 八森峰浜ふくし会 海光苑 岡本 丈義様

(一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会 岡本 丈義理事)

16:00 閉会挨拶 開催校 白梅学園大学 午頭潤子

(2) 研修内容

①第1部 講演

「認知症を治すケア その理論と実践 (2)」-認知症の新しい介護理論-竹内孝仁会長より、
私たちは日常生活において、物事を「まとめる」、「意味づける」、「関係づける」ことを無意識に行いながら時間の流れを進め未来を創造し、物事の流れを作りながら生きている。認知症の方は、これらの行為がうまく行えないため物事が理解できず、そこから混乱や不安が生じており、「認知」に失敗する。「認知」の条件には積極性や活動性といった能動性に関係しているということが明らかとなった。

②第2部 シンポジウム

各認知症あんしん生活実践塾塾生からの実践報告を行う。

塾生が経験した基本ケア実践の効果や、日々の実践に関する具体的な工夫内容を報告することが出来た。また、各塾の取組みや成果を報告することが出来た。そして、介護福祉士・社会福祉士を目指す学生によるボランティア活動に効果的であったこと、家族介護者の認知症の症状を改善したいという想いや、認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解が求められていることが明らかとなった。

③パネリストと会場を交えてのディスカッション

参加者とパネリストとの積極的な意見交換を行うことができた。

会場からの質問内容は、「水分の適温は」、「月 1 回のアドバイスはどのようなものであったか」、「水分をとる工夫を教えて欲しい」、「施設で症状改善に取り組みたいが医療職からの理解が得られない場合はどうしているか」、などが寄せられた。また当日は上海からの参加者もあり、認知症あんしん生活実践塾の開催を望む声がきかれた。

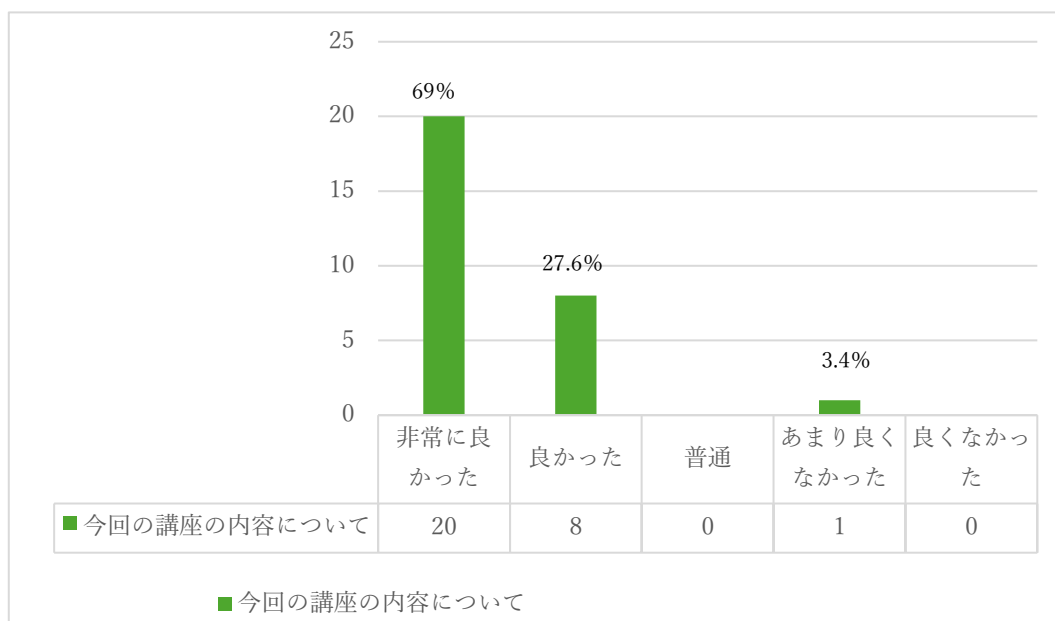
講師からは水分に関する知識の必要性と、覚醒水準を上げる取り組みについて報告があった。

3. アンケート結果

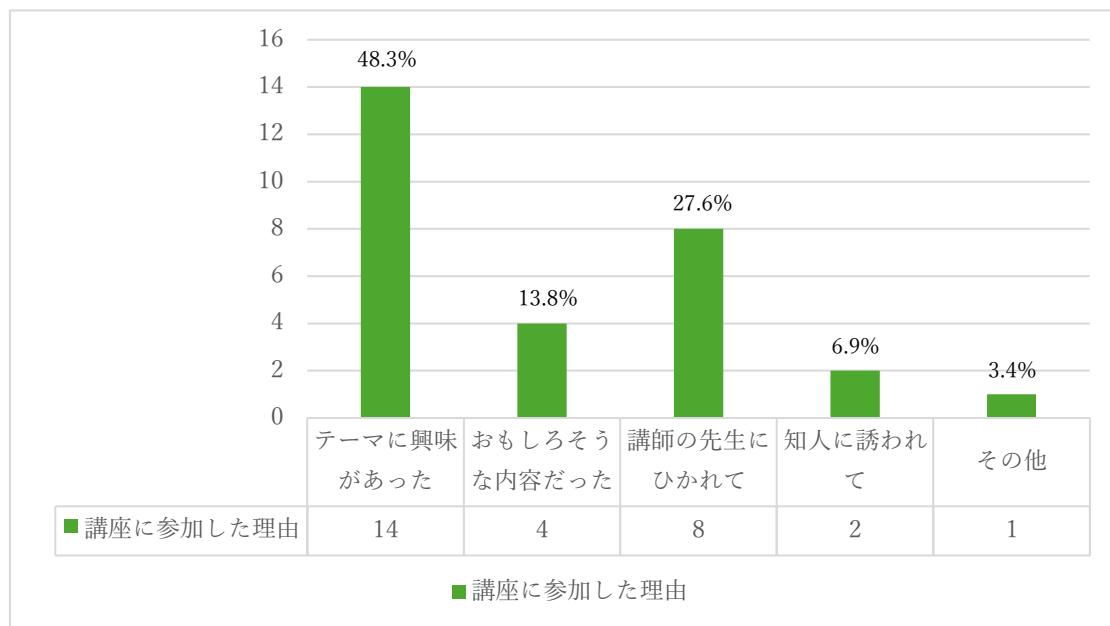
認知症あんしん生活実践塾 2024 家族で治そう認知症／家族・地域支援セミナー in 小平

回答者 29 名

1. 今回の講座の内容について、あてはまるものを選んでください。（回答 29）



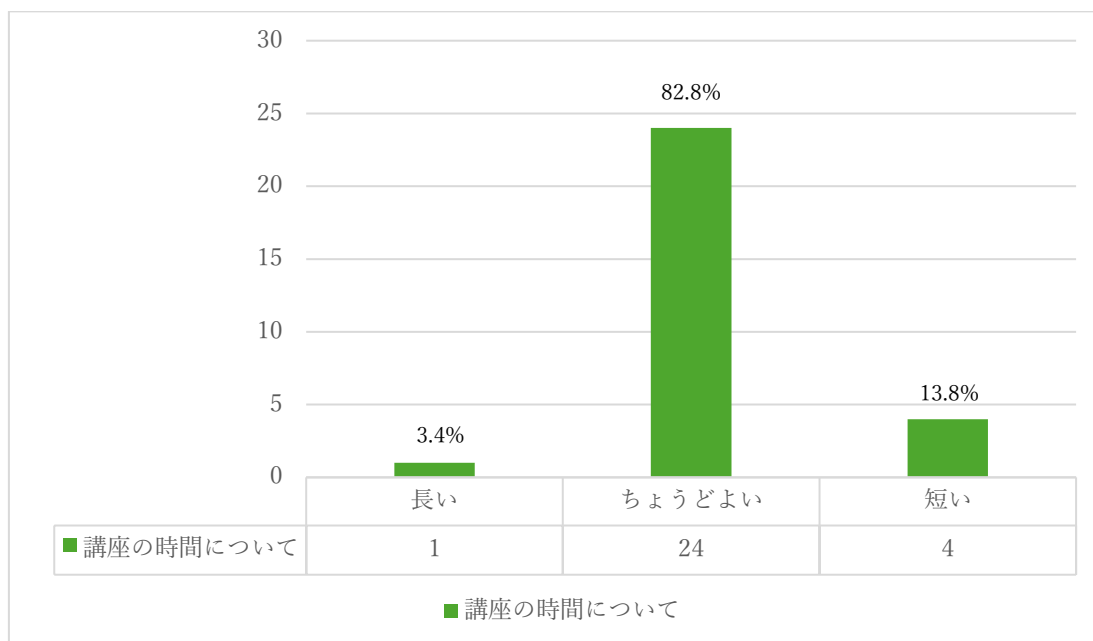
2. 今回の講座に参加した理由について、選んでください。（回答 29）



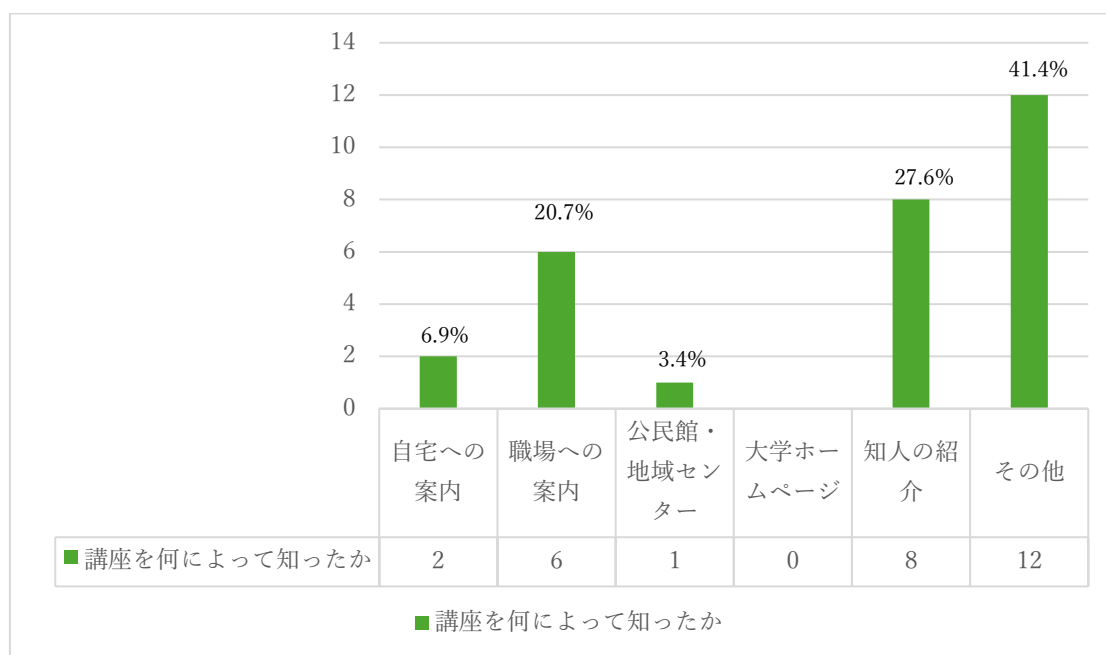
2. 上記の質問で「その他」を選ばれた方、何によってお知りになったかご記入ください。（「その他」回答 1 件）

- ・高石市でも取り組みを進めて行きたいと思っているため

3. 講座の時間について、あてはまるものを選んでください。（回答 29）



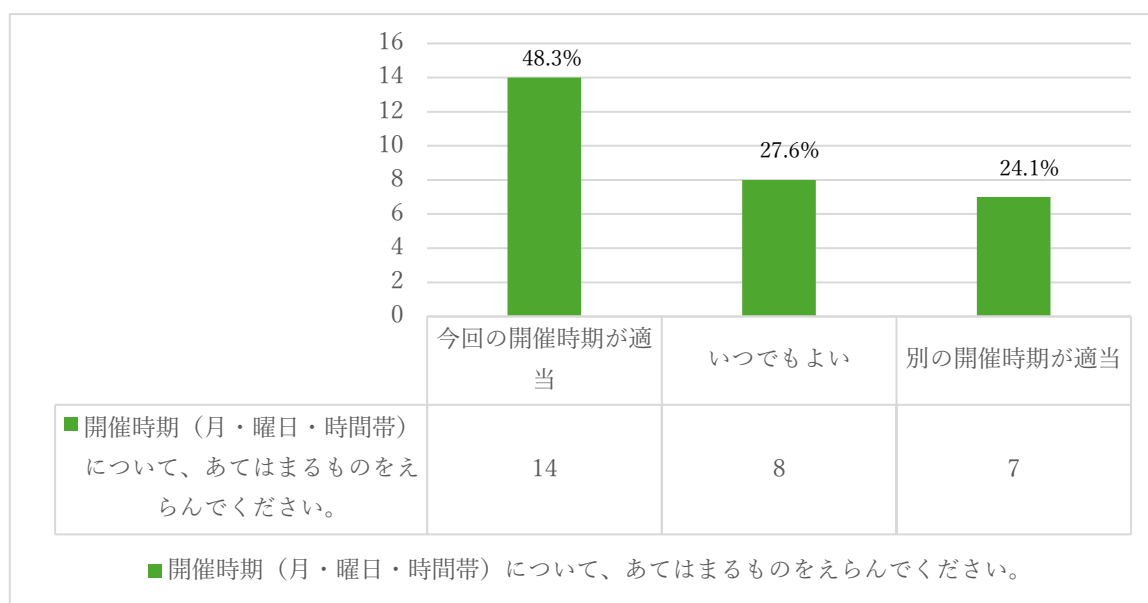
4. 講座を何によってお知りになりましたか。（回答 29）



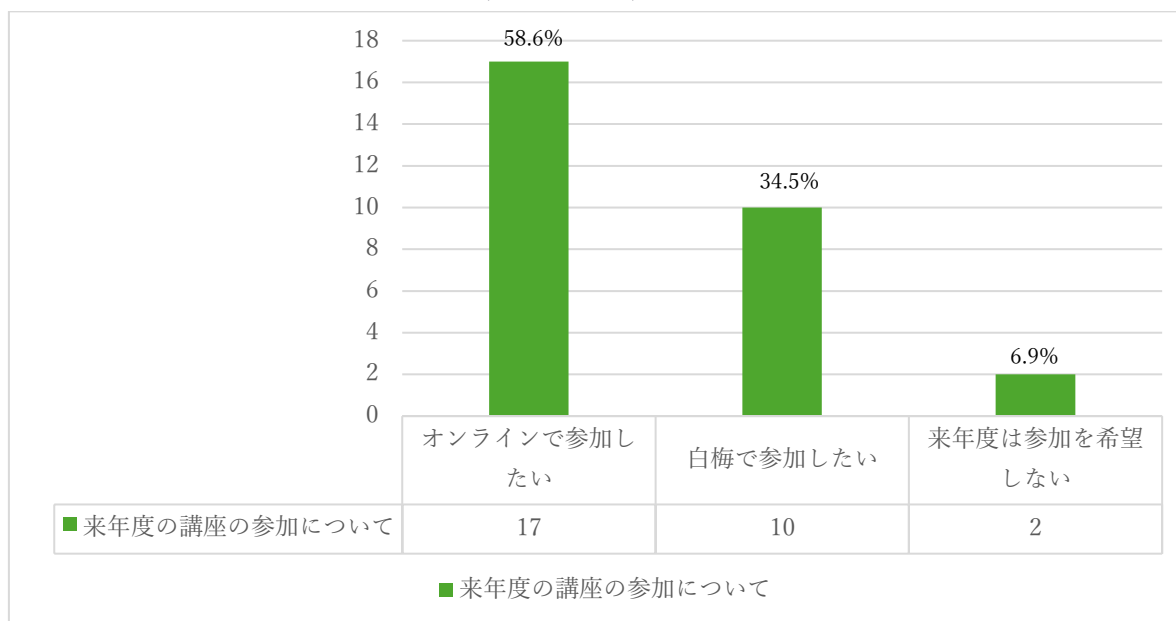
5. 上記の質問で「その他」を選ばれた方、何によってお知りになったかご記入ください。（「その他」回答 12）

- ・市報こだいら 3 件
- ・学術大会にて 1 件
- ・学会の案内 2 件
- ・自立支援パワーリハ学会 2 件
- ・竹内介護学を元々知っていて cure より care を実践していたが、なぜ水が重要かの科学的理由が知れるかと思いました。 1 件
- ・あしなっすの一週間という YouTube を見て 1 件
- ・上条さんの Instagram 1 件
- ・ネット検索 1 件

6. 開催時期（月・曜日・時間帯）について、あてはまるものを選んでください。（回答 29）



7. 来年度の講座の参加について。（回答数 29）



8. 7 の質問について理由をお聞かせください。

〈オンラインで参加したい〉（回答 17）

- ・ 日時や場所によって参加が限られる為

- ・ どこからでも参加できるから
- ・ 秋田に行けるかどうかわからない
- ・ 秋田県は魅力的だが、参加が確約できないため
- ・ 自宅で受講できると負担軽減になるから。
- ・ 毎年開催場所が異なる為、遠方の場合、移動が大変なため
- ・ 秋田県はお伺いするのが難しそうなため
- ・ 自宅からは遠いので。
- ・ オンライン参加でもよいと感じた
- ・ 自分の地域にあんしん塾がないため
- ・ 自宅から遠いから
- ・ 来年度は、秋田県開催のため
- ・ 秋田県までは行けそうにないから
- ・ 遠方なので
- ・ 今回他県から参加しました。小平市でさえ遠いので参加を迷いました。オンライン参加が可能であると、秋田であっても参加できそうです。
- ・ 来年度は秋田県で開催との事だったので、参加するのであればオンラインでないと難しいと思います。
- ・ 来年度も参加したい気持ちはありますが、秋田は遠いので、オンラインで配信があればそちらで参加させていただきたいです。

〈白梅で参加したい〉（回答 10）

- ・ 近いので
- ・ 直接お話しをお聞きする方が勉強なる、また白梅学園大学が近いので助かる
- ・ 電車で 1 時間で参加出来た為。
- ・ 自宅の近所なので参加しやすいため

- ・ 介護中の知人を連れていきたい。
- ・ 高石市でも取り組みを進めて行きたいと思っているため
- ・ 対面で聞く方が勉強になる、交流ができる
- ・ たくさんの方々と交流ができるから。
- ・ 直接お話を伺いたいです。
- ・ 純粋に東京にまた行きたいです。そして講師の先生方に直接質問したい。

〈来年度は参加を希望しない〉（回答 2）

- ・ 聞きに行ける時間がないかもしれない。
- ・ "親が血管性認知症と言われ参考になればと参加しました。内容は、今後の生活として気をつけるべきことがわかり、大変参考になりました。内容、テーマが広がって聴けるのであれば参加したいです。"

9. 今後希望するテーマ、内容についてご希望がありましたらご記入ください。（回答 10）

- ・ 資産運用
- ・ 義歯調整
- ・ 認知症の方とのコミュニケーションのとりかたについて
- ・ レカネバフなど新薬の効果
- ・ 小平市介護担当者の話も伺ってみたい
- ・ あんしん塾で成果が出た皆様のその後の経過（数年単位で）についても共有があると参考になります。
- ・ 高齢者の栄養・食事
- ・ 利用者に介護保険サービスをすんなり受け入れてもらう方法（認知症があると拒否から家に入れてもらえず、ヘルパー利用ができないなど）
- ・ 血管性認知症の場合どうなのか知りたいです

10. 講座の感想やご意見、ご要望等ございましたらご記入下さい。（回答 19）

- ・ 今回のテーマは大変興味深く、すぐにでも実践できる内容でしたので、とても参考になりました。国内外から受講されに来られていたのには驚きました。このような貴重な講義に参加できましたこ

とを感謝いたします。

- ・ 在宅介護の自立支援の取り組み報告を私は初めてお聞きしたので大変学びになりました。今後も在宅介護の報告が聞きたいです。
- ・ 理論と実践報告で、とてもバランスが良いと思います。ご家族はじめ実践した方々が、笑顔とともに改善例を自分の言葉でお話ししてくださることが、講座の本質だと思いました。
- ・ 当事者の方の声が聞けて良かった。
- ・ 参加されている家族の知識や実践から本気度をビシビシと感じた。施設で働いている私は、今後も学びを深め、家族が出来ないケアを専門職として実践する必要があると改めて感じた。この度はありがとうございました。
- ・ 無料での開催は大変ありがたいです
- ・ 障がい者との認知の近似の紹介があったが、障がい者が水で治ることはない。脳の器質的障害だから。認知症が水で治るのは、どういう理由からか？そこをもっと解説してほしかった。
- ・ 今回は、小平市長も参加されていましたが、小平市としての展望や考え方をお伺いしたい
- ・ 塾生さんの実践やボランティアの学生さんの応援に感動しました。自分たちも実践したいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・ ご家族の方の熱心な取り組みと専門職・学生の支援の組み合わせがとても心に残りました。さらに多くの自治体がこの取り組みを導入いただけるよう、自治体間でも普及促進いただけるとありがたいと思いました。
- ・ 4組の方々の取り組みの発表はとても内容が濃く学びになりました。
- ・ ルネ小平等 駅近くの会場でもよいのではないかと感じた
- ・ 初めて講演を聞いて自分の親の生活に間違いがないことに安堵しました。「認知は能動的行為」を初めて聞いて高齢親の行いが納得できました。まだまだ認知症は予防出来ると感じました。"
- ・ 竹内孝仁先生の講義も、家族の発表参考になりました。
- ・ 竹内先生の講義は4回目の受講ですが、毎回色々なエピソードを交え、わかりやすい言葉を使って下さり感謝申し上げます。
- ・ 登壇された方々のリアルなお話がとても参考になりました。
- ・ 認知症を治すという考えがなかったので、とても勉強になりました。
- ・ 日常生活において、老人が水分補給をしなくなるとは知っていましたが、経験者の事例を挙げた講座は、わかりやすい内容でした。また、入れ歯の大切さなど改めて確認しようと思ったので、参加して良かったです。
- ・ 塾生の事例報告を受け、認知症は治る病気だと確信しました。私の祖父も認知症であり、水分不足が考えられます。水分摂取を促す様々な工夫を伺うことができとても参考になりました。また、老人ホームで働いているので、ご入居者のためにもご家族のためにも認知症を治せる介護

士になれるよう知識を増やしていきたいと思いました。ありがとうございました。

4. まとめ

今年度の大会は、北は東北、南は九州、そして中国からと、多くの方に参加いただき誠にありがとうございました。

当日は大きなトラブルもなく予定していた時間通り順調に大会を終了することが出来ました。

認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けるために、行政、医療福祉従事者、学校等が連携を図り、より良い地域社会作りに貢献できるよう、今大会での学びを活かし、本会を更に発展させ、次年度も開催をする決意です。

最後に東京都小平市での本大会開催については、皆様方のご協力によりに、無事執り行うことが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

認知症あんしん生活実践塾 2024 in 小平市 実行委員会

2024 年度白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所

地域課題解決型活動プロジェクト 小平市認知症あんしん生活実践塾

午頭潤子、森山千賀子、渡辺羊子、上条百里奈